

## 甘肅省蓮花山のキンメフクロウ営巣繁殖の記録

孫悦華<sup>1</sup>・方昀・Wolfgang Scherzinger<sup>2</sup>・Siegfried Klaus<sup>3</sup>

1 中国科学院動物研究所

2 バイエレン国立森林公園

3 チュウリンゲン環境保護局

摘要 キンメフクロウは環北極域に分布し、その甘肅亜種は1928年、甘肅西北部の天堂寺で初めて発見されてから、80年以上も甘肅省で報告がなく、彼らの生息が非常に分散していたことによる。1999～2003年、筆者らは甘肅省蓮花山地域で、キンメフクロウを発見、3巣を観察記録した。キンメフクロウは針葉樹の樹洞中に営巣し、雌雄共同で育雛を行っていた。

キンメフクロウ (*Aegolius funereus*) はフクロウ目フクロウ科キンメフクロウ属で、環北極域に分布し、北半球北部に限られている。我が国では3亜種が分布し、*pallens* 亜種は新疆省西部の天山に、*sibiricus* は内蒙古自治区のホロンバイル地区および大興安嶺地区に分布している<sup>[1]</sup>。キンメフクロウの甘肅亜種 (*A. f. beickianus*) は、1928年、Stresemannにより甘肅省西北部の天堂寺で初めて発見され、以来80年、甘肅省においてまったく報告が見られず<sup>[2]</sup>、他の観察地もわずかに青海省の貴南と四川省の九寨溝県にのみ限られていた<sup>[1,3]</sup>。キンメフクロウは現在、国家二級保護動物に登録され、また、中国の絶滅危惧動物レッドデータブックとCITES付録IIに収録されているが、中国におけるその野外生態の資料は全く欠乏しており、したがって危急度も未定のままである<sup>[3]</sup>。

蓮花山自然保護区は甘肅省の康楽、臨潭、卓尼3県の境界部にあり、この自然保護区の自然概況についてはすでに紹介がある<sup>[4]</sup>。1995年以来沙河灘保護ステーション周辺のトウヒ、モミなどの針葉樹中に、毎年3～5月、キンメフクロウの鳴き声をきくことができる。1999～2003年の間に3つのキンメフクロウの巣を発見したので、以下に報告する。

巣1は、1999年7月9日、標高3080mの冷杉 (*Abies fabri*)<sup>[5]</sup> 林中において発見、位置は北緯34° 55' 30" 東経103° 43' 48"。この巣は胸高径50cmの冷杉樹洞中にあり、樹洞には2つ続いた様な細長い洞口が開いており、その高さは3m。樹洞の内径は10cm、深さは約30cmであった。樹洞中から雌鳥が慌てて飛び出した。巣の中に2羽の雛がおり、羽毛の状況から、孵化後5～8日経過したものと思われ、洞内には食物の残りが見えた。10分後雌鳥が帰ってきて、洞口の向かいにある小さな雲杉 (*Picea asperata*)<sup>[6]</sup> にとまった後、急いで洞中に消えた。その日、われわれは20:00～21:00の間巣の近くで観察した。20:50、雄鳥が巣の近くへとまり軽い声で鳴くと、雌鳥が現われ、給餌を5回受けて巣へ戻った。これは、キンメフクロウが雌雄共同で育雛していることを示している。キンメフクロウは3月になると求愛の鳴き交わしがあるので、この育雛は比較的遅い繁殖と思われる。この冷杉の年輪は約60年で、この杉林には100年を越えたものもある。この樹洞では2000年に再びキンメフクロウが営巣し、2001年にはキバシリ (*Certhia familiaris*) が繁殖した。

巣2は、2000年5月9日蓮花山自然保護区力関林場の多蔵林区で発見、営巣場所は標高3000m、北緯35° 03' 11"、東経103° 26' 15" である。巣は、胸高径46cm、高さ4mで折れた立ち枯れの冷杉に高さ3.3mにある樹洞で、円形の洞口径12cm、巣内の繁殖状況は不明。この森林はすでに厳しい伐採の難を受けており、山の斜面すべての冷杉がほとんど伐り尽くされ

て、わずかに灌木が残されている状態である。

巣3は、2003年5月7日発見。営巣場所は、巣1の付近にある1本の冷杉の天然樹洞を利用。この冷杉は胸高径60cm、樹洞の高さは2.1m、洞口は縦長で径12×9 cm、洞内径20cm、深さ30cm、雌は抱卵中、巣内には3卵のほか巣材らしきものはなく、親鳥の食餌の痕跡と思われるスズメ目小鳥の羽毛がわずかに散乱していた。2日後、天敵の被害を受け、巣を放棄した。

ヨーロッパのキンメフクロウは1巣卵数が、食物の欠乏時には4～6卵、食物が豊富な場合6～8卵に達するという報告がある<sup>15)</sup>。しかし、蓮花山のキンメフクロウは、巣1では発見時2羽の雛のみ、巣3では巣内の卵が3卵という数は、ヨーロッパと比較して少ない。これは、当地が彼らの餌対象生物が少ないことと関係があると考えられる。

添付の写真は2003年5月、甘肅省蓮花山自然保護区、標高3080mの冷杉林でキンメフクロウ雌成鳥を撮影。

#### 訳注

\*1 冷杉 *Abies fabri*; マツ科, モミ属, 四川省北部標高2000~4000mの高地に分布。

\*2 雲杉 *Picea asperata*; マツ科, トウヒ属, 四川, 陝西, 甘肅南部, 青海東部に分布。